

3 市民の心豊かな暮らしの実現



札幌駅北口に、さまざまな市民の活動の場となる四つの施設が誕生

九月一日(月)、札幌駅北口広場に面した地上十三階建ての民間ビル「札幌エルプラザ」内に、札幌の新たなまちづくりの拠点となる四つの公共施設がオープンします。

市では、施設整備に当たり、民間資本を有効に活用するという観点から、都心部の再開発ビルの一階から四階部



札幌駅周辺と地下歩道で結ばれた「札幌エルプラザ」。1～4階が公共施設となります

分を取得する手法を採用しました。一、三、四階には「男女共同参画センター」、二階には「消費者センター」「市民活動サポートセンター」「環境プラザ」を開設。市民生活にかかわりの深い施設を同じ建物内に整備することで、施設の有効活用や効率的な管理運営が可能になるだけでなく、市民の活動にも広がりが見えます。

一階には、四つの施設が共同で使用する「情報センター」を配置し、それぞれの分野の専門図書やビデオなどを備えます。また、二・四階には、研修室や多目的ホールなどの貸室も設置。市民の自主的な活動の場として幅広く利用できます。

こ ん な 事 業 も

歴史的・文化的資料を集約

本市の歴史的・文化的価値のある資料や写真などは、個別に所管されており、管理の効率化やコスト削減のため、デジタルデータとして集約します。膨大にある資料類の劣化を防げるほか、広く公開することで情報の共有が図られます。

IT市民サービス推進事業

市政に関する情報を集約し、IT(情報技術)を活用しながら、市民の皆さんからの問い合わせに迅速に対応する「コールセンター」を開設。4月からは全市的に試行を実施し、6月の本格実施を目指して、体制を整えていきます。

公園情報システム整備

市内約2,500カ所の公園や緑地について、所在地や周辺地図、施設の紹介などの情報を、写真付きで市役所のホームページ上に公開し、容易に検索できるシステムを構築します。

芸術の森野外ステージが完成

PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)の会場の一つにもなっている芸術の森野外ステージを改築します。新ステージは、大編成のオーケストラに対応できる広さで、音響にも配慮しています。今年度末に完成します。

アジアの強豪野球チームが札幌ドームに

アテネオリンピックのアジア地区予選を兼ねた野球選手権大会が、10月31日(金)から11月7日(金)まで札幌ドームで行われます。日本代表の試合を含む12試合が行われるこの大会の開催費の一部を負担します。

荒井山シャンツェの整備完了



メディアムヒルとスモールヒル、二つのジャンプ台を備えた荒井山シャンツェの全面改修が秋に終了。いずれも人工芝を敷き詰め、夏季にも競技が可能になります。

移動食器洗浄車を貸し出し



飲食を伴うイベントなどで食器洗浄機を積んだ小型トラックを食器付きで貸し出します。使い捨て容器の使用を減らすのが目的です。8月に開催する環境広場さっぽろにも登場します。

健康づくりに関するイベントを開催

生涯を通じた健康を実現するための指針として、4月からスタートした「健康さっぽろ21」。この計画を多くの方に知っていただくため、健康づくりに関する総合的なイベントを8月末に豊平区のきたえーるで開催します。

生活環境の確保に関する条例に基づく環境保全行動計画のマニュアル作成

今年2月に施行された同条例の実効性を高めるため、事業者との協働で、環境保全行動計画のマニュアルとなるマニュアルを作成します。

協働型社会の実現に向けた市民の自主的な活動への支援や、IT(情報技術)を活用した市民サービスの向上に関する取り組みなどを行います。